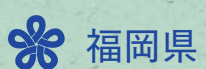


「ワンヘルス」って知っていますか??

What is One Health?



わたしたちが健康に暮らしていくためには、地球に暮らす動物、そして地球自身も健康である必要があります。わたしたちが住んでいる地球の環境を守ること、人も動物も健康に生きること。そのために、わたしたちは何をすればいいのでしょうか。ワンヘルス(One Health = ひとつの健康)とは、人と動物の健康および環境の保全を1つと考え守っていくために、医師や獣医師、環境の専門家や研究者だけでなく、みんなで考えて行動することです。



お父さんはバスで通勤。多くの人を一度に運ぶバスや電車を利用することで、車から出る二酸化炭素(CO₂)を減らし地球温暖化を防ぐことができます。



街に



お母さんは愛犬といっしょに散歩。散歩はお母さんと愛犬の心と体を健康にします。



中学生の康美さんは自転車で、小学生の健さんは徒歩で通学。自転車をこぐ運動や歩くことは健康な体をつくれます。自転車や徒歩での通学は、CO₂も出ないので地球の環境を守ることに也有利于。

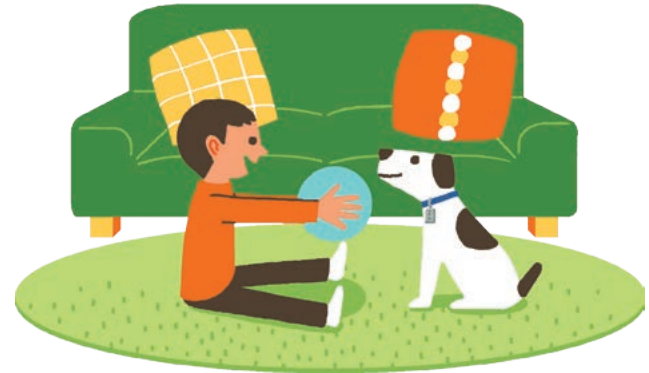
身近なところにあります

わたしたちの生活は、どうつながっているのか、いったい何をすればいいのか、考えてみましょう。



康美さんは家に帰ってすぐに手を洗い、うがいをします。外でさわったものに病原体が付着している場合があるので、石けんで手をよく洗って病原体の感染を防ぎます。

健さんは愛犬とボール遊び。愛犬とのきずなを強め、「いのち」の大切さや思いやりの心を学ぶ機会になります。愛犬には年に1回、狂犬病予防注射を接種。済票を首輪に付け、愛犬の健康に気を付けています。



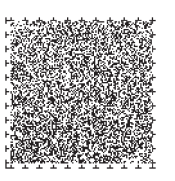
家に

お父さんが夕食に食べているのはよく焼いたハンバーグです。ハンバーグに使うひき肉には病原体が付着していることがあります。病原体の多くは加熱すると死んでしまうので、中まで十分に加熱することで食中毒を防ぎます。

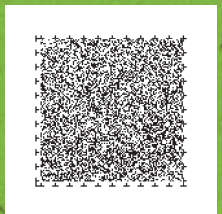


健さんは夕食後に薬を飲んでます。薬を飲むときは回数や量を誤らないように、保護者に確認してもらっています。

お母さんが夕食に食べているのは地元でとれた野菜です。地元の食材は産地の状況がわかり、身近な環境を保つことにもつながります。



これは音声コードです。音声コードは中面の左右上下の4カ所にもあります。



「ワンヘルス」を推進

1

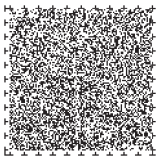
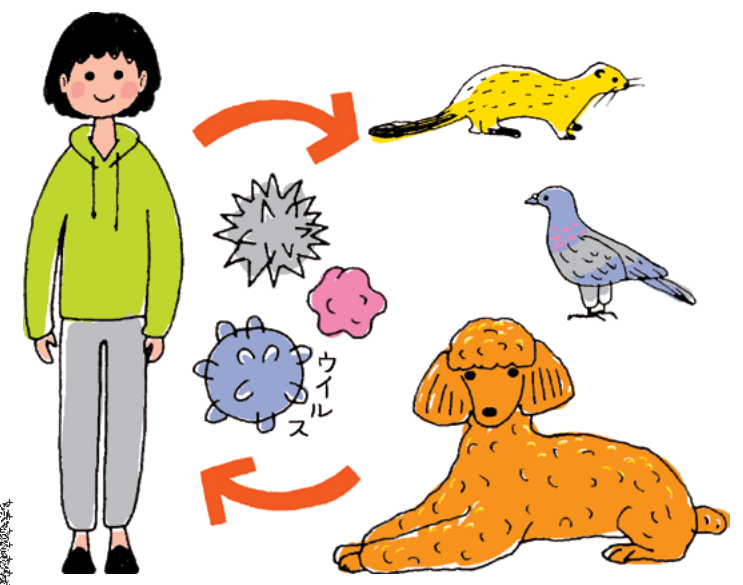
人と動物の共通感染症対策

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が人や動物の体内に入って起こる病気のことです。

動物から人へ、人から動物へうつる病気のことを「人と動物の共通感染症」といいます。その中にはインフルエンザや新型コロナウイルス感染症も含まれ、200種類以上の感染症があります。

次の3つがそうと、感染症が起こるとされています。感染症を防ぐためには、3つそれぞれへの対策が必要です。

- ①感染源：感染症の原因となる病原体を持っていて、人や動物にうつすことができる生き物や食べ物など
- ②感染経路：感染している人のくしゃみや咳から出る病原体を含むしぶきを吸い込むことでうつる飛沫感染、手に付いている病原体に触れてうつる接触感染など
- ③宿主：ウイルスや細菌などに寄生される生き物



2

薬剤耐性菌対策 薬剤の適正使用と管理

感染症の原因となった細菌を死滅させたり、増えたりしないようにするには、抗菌薬（抗生物質）が有効です。

抗菌薬は、1日に飲む回数や1回あたりの量などをきちんと守らないと十分な効果が期待できません。

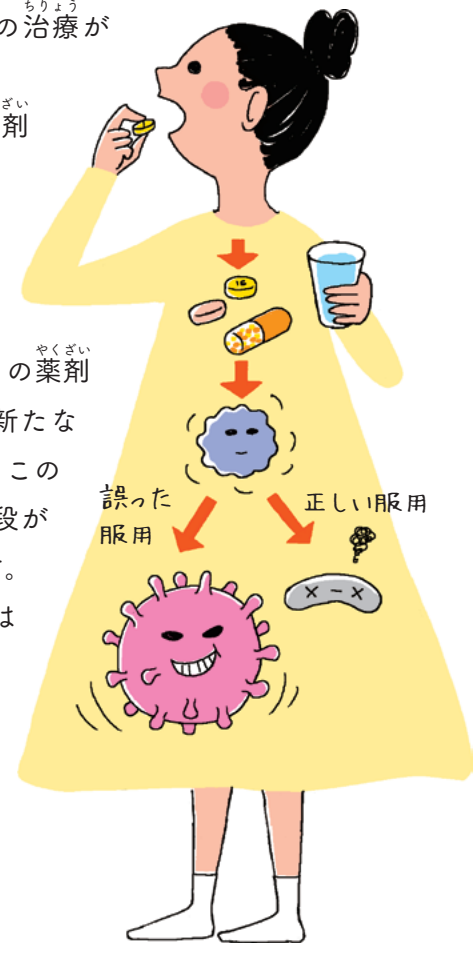
また、回数や量などを誤ると、病気の原因である細菌だけでなく、人の体に必要な細菌まで死滅させたりします。

そして、抗菌薬が効かなくなったり、効きにくくなったりする薬剤耐性を獲得した細菌「薬剤耐性菌」が現れてしまいます。抗菌薬が効かなくなると、病気の治療がとても難しくなります。

また、動物が持っている薬剤耐性菌が畜産物や農産物を通じて人に広がったり、環境が汚染されたりすることもわかってきました。

いま問題となっているのが、この薬剤耐性菌が世界的に増える一方、新たな抗菌薬の開発は減少傾向にあり、このままでは薬剤耐性菌への対抗手段がなくなってしまうということです。

そこで世界保健機関（WHO）は2015年に薬剤耐性菌対策に取り組むことを決めました。日本でも2016年から薬剤耐性菌の発生や拡大を防ぐための対策を進めています。



3

環境保護

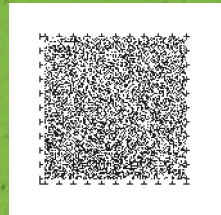


人や動物にとって大切な森林を壊し生態系を崩すことは、気温が上がり降水量が増えるなど地球の気候変動の一因になります。地球温暖化は、豪雨や台風、山火事などの災害の原因となり、人だけでなく動物にも大きな災いを引き起こします。このように環境と人と動物の健康はつながっています。

森林の過剰な伐採や石油などの化石燃料の大量消費が一因となった気候変動や都市化が進むことにより、生態系が変化し、森林の中で生息していたウイルスなどの微生物と人が遭遇するきっかけとなったとされています。

自然環境は、人を含むさまざまな生き物が生きる場です。生態系の健康を守り、人と野生動物とのすみ分けができてこそ、人や動物の健康を保つことができます。そして、健全で豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくことも大切です。

するための6つの柱



4



人と動物との共生社会づくり

犬や猫、鳥などの動物（ペット）との暮らしは、わたしたちの日常に幸せと彩りを与えてくれます。特に子どもが心豊かに育つ上で、動物との触れ合いや家庭における飼育経験が重要であるといわれています。また、災害救助犬や盲導犬、狩猟犬など人のために働き、社会活動のさまざまな場面で活躍する動物もいます。

その一方で、犬や猫をいじめたり、捨てたり殺したりする悲しい出来事も起こっています。

動物との関係をより良く保つためには、その生態、本能や習性をよく理解するとともに、動物（ペット）を飼う場合には、その生態や飼い方をしっかり知っておきましょう。

また、野生動物についても、むやみに触れ合おうとせず、見守ることが大切です。



5



健康づくり

健康はみんなの願いです。「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます」(WHO憲章から。日本WHO協会訳)。

例えば、気晴らしや楽しみなどを目的としたランニングやウォーキング、体力の向上や健康を保つために行うスポーツは、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、人を元気にする力があります。

健康づくりには、人や動物みんなが身体的、精神的、社会的にも良い状態で過ごすことができる生活環境をつくっていき、誰もがスポーツなどを楽しんだり、調和のとれた自然環境と多様な動植物との関係の中で、主体的に生きることができるよう進めていくことが大切です。

6



環境と人と動物のより良き関係づくり

わたしたちの健康は健全な環境で生産された農林水産物などを食べるにより維持されています。

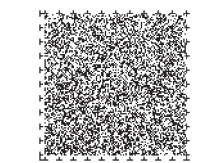
米や野菜などを作るためには健全な環境の農地や水が必要です。肉や牛乳などは動物の「いのち」から生まれますので、牛や豚などの健康を保つことも大切です。

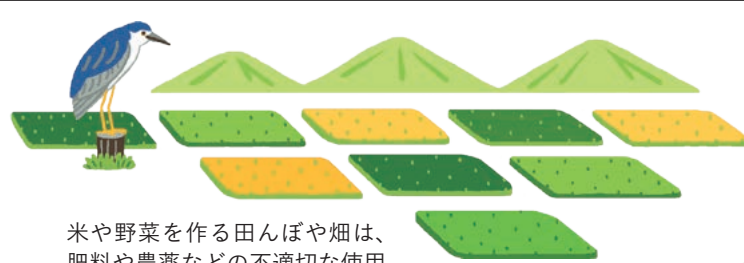
納豆やチーズなどの発酵食品は微生物の働きで作られています。このような微生物も目には見えませんが、環境と人と動物の間で行き来しています。

わたしたちが、食べ物が作られた環境を知り、地元の畑や里山で生産された新鮮な食べ物を食べることで、身近な環境を保つことにつながります。

みなさんの普段の何気ない食事でも、自然環境や動物の「いのち」などいろいろなことが関係しています。

これらのことを意識してみると、毎日の食事味も深いものになるかもしれません。





米や野菜を作る田んぼや畑は、肥料や農薬などの不適切な使用で、土壌や水質が汚染されないようにすることが必要です。

牛やブタ、ニワトリを飼育する農場では、牛舎などを清潔にして、野生動物からの病原体の感染を防ぐため、野生動物への対策などが必要です。



野外に



魚つりをしている康美さんとお父さんは水中生物の生態にふれることで、環境を守ることの大切さを学びます。



康美さんはキャンプで出たごみを分別しています。ごみを持ち帰って処理することで、環境を守ることになります。

お母さんと愛犬はドッグランでフライングディスク遊び。お母さんと愛犬のきずなを強め、ディスクを追いかけて、かんだりすることは愛犬の健康な体づくりになります。

健さんとお父さんは長そで、長ズボン、長ぐつ姿です。草むらなどでは病気を起こすマダニなどにかまれないよう、はだを出さないで感染を防ぎます。



体育の授業のさまざまな運動は、体力を高めたり、心身の健康を保持増進したりします。

学校に

給食には地元でとれた野菜や肉・魚類を使用。地元の食材や郷土料理を知り、食べることの大切さを学びます。

動物の世話をすることは、動物の生態を知り、「いのち」の大切さや思いやりの心を学ぶことになります。



わたしたちの「ワンヘルス」は

「ワンヘルス」を推進するために6つの柱があります。ページをめくると、6つの柱について説明しています。



「ワンヘルス」について理解が進みましたか？



わたしたちの生活には、「ワンヘルス」に関することがたくさんあります。自分たちの体のこと、動物たちの生態のこと、地球の環境のこと…。身近なところにある「ワンヘルス」をいろいろ見つけて友達や家族と話してみてください。



「ワンヘルス」と「SDGs」

「SDGs(エス・ディー・ジーズ) = Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の中には、「ワンヘルス」の課題や目標と重なるところがあります。「ワンヘルス」と「SDGs」の目標達成に向けて、わたしたちにできることは何か、考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



外務省の「SDGs」ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>



「ワンヘルス」に関する情報をもっと知りたいときは

福岡県の「ワンヘルス」ホームページ <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/life/3/21/390/>



厚生労働省の「ワンヘルス」に関するホームページ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000172990.html>



農林水産省の「ワンヘルス」に関するホームページ https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/yakuzi/action_plan.html

